

あゆむ会



〒326-0141

栃木県足利市小俣町3294番地2

児童養護施設「イースターヴィレッジ」

「イースターヴィレッジと

ともに歩む会」

TEL 0284-62-3501

FAX 0284-62-6610

info@easter-village.or.jp



理事長挨拶 「神様の窓」

皆様、この度、理事長となりました山野内でございます。

浦和にある司教館には小さなチャペルがあり、可愛いカレンダーが掛けてあります。きっと皆様のお家にも飾られている、あの「イースターヴィレッジの子どもたちの絵のカレンダー」です。わたくしは、チャペルで祈る度に、特に、朝ミサを献げる時、カレンダーの絵を見て、季節の空気を感じ、イースターヴィレッジで暮らしている子どもたち、働いてくださっている方々、一人一人のために、特に、必要なものが充分でありますようにと祈っています。

まず、目に留まるのは、カレンダーの中にある、子どもたちの描いたあの美しい絵です。そして、カレンダーの真ん中にある小さな窓に目を留めます。その中には、その2ヶ月間を過ごすときの祈り、あるいは願いを込めた、短い、素敵なメッセージが書かれています。カレンダーの可愛い絵は、そのメッセージと繋がっているのがよく分かります。即座に、そのちいさな窓は「神様の窓である」との閃きがありました。その窓を通して、神様が私たちの使命を祝福し、希望で満たしてくださっていること、毎日、さいたま教区を祝福してくださっていることを理解することができました。

この事業を助けてくださっている方々、特に、足利教会の信者の皆様はじめ、歩む会や地域の皆様にとって、きっと、「イースターヴィレッジ」は、神様の家、一つのベツレヘムになっているのではと感じます。私たちは「イースターヴィレッジ」と結ばれることによって、次の福音書の言葉を生きることができるようではないでしょうか。「子供たちを来させなさい。わたしのところに来るのを妨げてはならない。天の国はこのような者たちのものである。」(マタイ19:14)

先だつての引継ぎの理事会・評議会に出席しました時、出席の皆様生き生きとした姿を拝見し、諸報告を聞いて、長い間、理事長としてイースターヴィレッジと歩みを共にしてくださいました矢吹貞人さんの献身を思い、心からの感謝と神様が祝福で満たしてくださいますように祈りたいと思います。

そして、イースターヴィレッジで子どもたちのために献身的に働いてくださっている職員の方々をはじめ、長年にわたって支えてくださっている歩む会の皆様や地域の皆様に心から感謝いたします。これからも、この社会の中で、神様から委ねられた使命をご一緒に生きることができるよう。

来年のカレンダーを楽しみにしています。カレンダーを通して、毎日、「神様の窓」を開けながら、共に歩みましょう。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。(福)イースターヴィレッジ理事長 山野内 倫昭

「ただただ、神の恵みの10年を感謝しつつ」

この度やっと念願が叶い、理事長に、さいたま教区長・マリオ山野内司教をお迎えできることになり、退任のご挨拶を申し上げます。2011年初春の東日本大震災直後、被災者支援活動にも力を注がれることになった谷 大二理事長(当時、さいたま教区長、現・名誉司教)から、ピンチヒッターをと頼まれてから、あっという間に10年が経ったことを驚きながら、感謝のうちに過ごせた日々を振り返っております。

(児童養護施設)イースターヴィレッジを初めて訪れましたのは、あの火災の発生直後の夜のことでした。その災難の時をプラスに捉え、ユニット制施設への転換が実現され、ファミリーホームの開設を経て、今年春には、更に家庭に近い、男女居住の地域小規模養護施設「円い(まどい)の家」の開設に至るまで、皆様の温かい協力の輪の中に入れていただいて、ずっとイースターヴィレッジと共に過ごして来れましたこと、ただ感謝です。偏に、歩む会や教会の皆様、地域の皆様の温かいご支援のおかげです。イースターで暮らす子どもたちのことにいつも思いを馳せ、陰に陽に、力を合わせてくださる多くの方々の姿に心を打たれ続けてまいりました。本当に、神の恵みに感謝いたしたいと思います。

また、(児)イースターヴィレッジが元気に歩んでくださったさつたのおかげで、その後、兄弟施設となった(自立援助ホーム)マルコの家(2010年開設)と(養護施設)聖園那須老人ホーム(2008年受け入れ)はともに多くの方々の支えも受けながら、安心して歩むことができいております。それを見ながらの退任、併せての感謝です。

今後は、しばし理事に留まり、理事長を補佐しながら、皆様とご一緒に歩んでいきたいと思っております。引き続き、よろしくお願い申し上げます。前理事長 矢吹 貞人



ぐんまこどもの国

あみあみのところや、ながいきのぼうのところとかのじめんがみえるところは、こわくていけないとおもったけど、ぜんぶやったらこわくなかった。できて「ヤッター」ってかんじだった。

いちばんたのしかったのは、ごろごろすべりだいのてっぺんにいくかいたん。クワガタみたいな

のがいてすごかった。

つぎはなかなかいけな

かったまんなかのみち

にいきたい。またぐん

まこどものくににいき

たい。(T・M 幼児)



6月26日、コロナ感染対策に取り組んだ上で、群馬こどもの国に幼児さんたちと行ってきました。今年度初の外出で、前日から子どもたちも職員もとても楽しみにしていました。

天気にも恵まれ、到着すると、ワクワクしている子どももいれば、少し緊張気味の子どもの姿もありました。普段遊んでいる滑り台よりとても長い滑り台に興味を示し、長い階段も軽い足取りで登り、何度も挑戦し楽しんでいました。

昼食では手作り弁当を持参し、皆でレジャーシートを敷いて食べました。たくさん遊んだあとの食事だったため、箸の進みも良く「美味しい」と満足そうに食べていました。昼食後も様々な遊具に挑戦し、帰る頃にはとても疲れきった様子でしたが、充実した一日を過ごせたのではないかと思います。

今後も感染対策に取り組み、子どもたちが楽しめるイベントを考えていきたいです。

(職員 宮川奈津樹)



大小山ハイキング



5月4日、足利市と佐野市の市境にある大小山へハイキングに行きました。朝、ユニットの子どもたちと一緒ににおにぎりや卵焼きなどを作り、頂上で食べようと張り切って出掛けました。登り始めは緩やかな道でしたが、登るにつれて崖をよじ登るような場所が多くなり、ハイキングと言うよりはロッククライミングのような道でした。子どもたちは怖がりながらもスリルを楽しむように登り進め、それぞれ楽しんでいました。頂上で景色を楽しみ、平らな場所を苦勞して探し、作ったお昼ご飯をみんなで食べました。下山し、疲れた体には甘い物ということになり、帰りの途中でアイスを買って食べて帰りました。大小山には職員も怖いぐらいの崖がたくさんありましたが、臆することなくチャレンジする子どもたちの勇気が見られ、とても印象的な外出になりました。(職員 津久井 良和)

円いの家・・・花火

8月10日に、円いの家でプチ花火大会をしました。今年もコロナウィルスのため、外出がままならない中でも、円い家のメンバーみんなで花火を楽しむことができました。笑顔がたくさん咲き、良い思い出になりました。

(M・H 高2年)

夏休み



谷の家・・・焼肉

本当は焼肉屋さんに行く予定だったけど、コロナで行けなくて残念でした。でもみんなと家で焼き肉をして、たくさん食べられたので楽しかったです。自分で焼いたとき怖かったけど、3枚焼くことができました。みんなと食べながらお話しもいっぱいできて嬉しかったです。最後に、冷たいアイスも食べることができて幸せな気分になりました。また、みんなと焼き肉をやりたいです。(M・Y 小4年)

施設の夏祭り 昨年と同様、コロナウィルスのパンデミックのため、地域の夏祭りは中止になりましたが、子どもが少しでも夏の風物詩を味わえるように感染症対策に取り組んだ上で、施設の夏祭りを今年も実施しました。

流しそうめんが恒例となっていますが、今年は代わりに焼きそばを用意し、屋台で売っているような雰囲気味わうことが出来ました。その他にもかき氷、唐揚げ、きゅうり、フルーツ、落書きせんべい等盛りだくさんのメニューで、子ども達はお腹いっぱいになったようで笑顔がたくさん見られました。スイカの早食い競争では種も洋服が汚れることも関係なく勢いよくかぶりついている姿が印象的でした。せっかくの夏休み、思うように遠出も出来ませんでした。この夏祭りが子どもたちにとって良い思い出になったら幸いです。(職員 三田 佳緒里)



創立記念日（宝探しゲーム）



5月1日はイースターヴィレッジの創立記念日です。今年も創立記念日に合わせて、お楽しみ行事として宝探しゲームを行いました。GWに思うように外出ができない中、施設内で皆で楽しめるように考えたものです。

イースターの敷地のあちこちに職員が数字の書かれたカードを隠し、子どもたちがそれを探し出します。カードは2つ折りになってのり付けされていて、開いてみるまでは

数字が書かれているのかハズレなのか分からないようになっています。宝物（カード）を見つけてダッシュでゴールした子どもがハズレを引いてしまいがっかり、また宝探しに駆け戻っていく…などという光景があちこちで見られました。職員はさりげなくヒントを出しつつ、応援をします。最後にカードに書かれた数字で抽選会をし、子どもたち全員がそれぞれの宝物を手にすることができました。

ユニットに戻ってからは、オードブルやピザ、シュークリームなどのごちそうで「イースターヴィレッジのお誕生日」をお祝いしました。今後も皆で工夫しながら、子どもたちと職員が笑顔になれる行事を考えていきたいと思えます。

（職員 林 愛子）



養育里親研修

私は心理の専門職として、養育里親研修に参加させて頂きました。大勢の人の前で話す機会は初めてだったので、とても緊張しました。里親を目指す方たちに、施設での心理の仕事、子どもの特性について伝えさせて頂きました。

将来、里親として子どもを養育する時に、温かい愛情で迎え入れて頂きたいと思えます。また、それと同時に、子どもを引き取るという責任に押しつぶされないよう、施設や児相等の関係機関をふんだんに活用して頂きたいと思っております。私の伝えたい想いが一つでも多く伝わり、今後のお役に立てばと願うばかりです。

（心理担当職員 町田 明日嘉）



10月は里親月間

里親制度とは

児童福祉法に規定されている養育を必要とする子どもたちのための制度です。里親は子どもたちを、「家庭的環境」の中で養育するという大きな役割を持っています。里親になる目的の違いにより、里親の種類が異なります。

里親の種類

（養育里親）家庭を必要とする子どもを親に代わって養育する一般的な種類の里親

（養子縁組里親）家庭で暮らすことのできない子どもを、養子縁組を前提として養育する里親

（専門里親）虐待などの理由で心身に有害な影響を受けた子どもを養育する里親

（親族里親）子どもの扶養義務者及びその配偶者である親族が、親が養育できなくなった時に、その親に代わり 特定の子どもを養育する里親

（ふれあい里親）児童養護施設で生活している子どもを、夏休みや冬休みに1週間程度養育してもらう里親



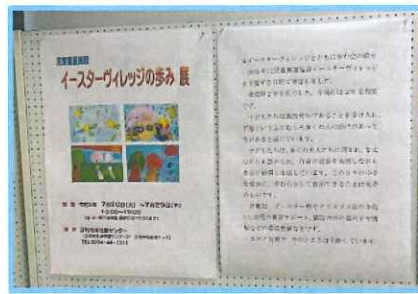
里親になるには

研修の受講が必要で、基礎研修は養育里親を希望する人を対象とし、児童相談所等において説明を受けた後、里親制度の概要など、基礎的な事項を学び、認定前研修は基礎研修を受講し、里親になる決意を固めたあと、里親制度や里親として養育していくことの基本事項を学ぶ研修です。

今年も6月にイースターで認定前研修を行いました。施設での様子、専門職員からお話をさせて頂いています。昨年受講していただいた方に、今年の夏休み、ふれあい里親として関わっていただきました。子どもたちの健全な成長のために、ご理解とご協力をお願いします。

（里親支援専門相談員 中山 孝子）





イースターヴィレッジ 活動紹介 企画展

後援会の川田会長からご縁を頂き、7月20日から29日までの間、足利市内の市民活動センターにて企画展に参加させていただきました。

企画展には施設の沿革を始め、写真や子どもたちの夢を展示しました。今回の企画展を通して、改めてより多くの方に施設の意義を理解してもらいたいという後援会の思いや、私たち職員も子どもたちとともに成長してきた軌跡を振り返ることができ、良い経験となりました。そして、多くの方々にとって頂く貴重な機会となったと思います。
(職員 八木沢 俊)

児童養護施設「イースターヴィレッジ」支援

2022年イースターヴィレッジカレンダー

～予約受付中～

※11月中旬頃発送予定



(2022年度カレンダー表紙)

会員募集中

『イースターヴィレッジとともに歩む会』(後援会)

年会費

個人年会費 一口 3,000円

法人年会費 一口10,000円

(どちらも何口でも、また、この金額以外でも可能です。)

※なお、会員には広報誌「あゆむ会」をお贈りします。

詳細については、パンフレットを用意いたしましたので、お問い合わせ下さい。

※年度切り替えのため、4月から新年度になります。

引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

郵便振替口座：00100-3-555049

「イースターヴィレッジとともに歩む会」

※なお、振込にての領収書は郵便振替受領証に代えさせていただきます。

『イースターヴィレッジとともに歩む会』は、皆様方の善意をいただき、イースターで生活している、または、卒業した子どもたちに物的・精神的援助を行っていくことを趣旨としている後援会です。この会の趣旨をよくご理解いただき、賛同して下さる方々を募集しています。



編集後記

1年延期になった「2020東京オリンピック・パラリンピック」の終わりと共に、季節が夏から秋へと変わっていきました。大会テーマには「多様性と調和」「未来への継承」が掲げられていました。「一人ひとりが違っていい」「共生」、それが当たり前のように感じていた世の中に私たちは生きているように感じます。今もなお、世界はコロナ下にあります。そのような現状で出来ることは何か、日々考えていきたいと思えます。イースターヴィレッジの子どもたち、職員は元気です！皆様もどうかお元気で過ごして下さい。
(とみ・みつ・しほ・あい・たか)

☆ ご質問等ありましたら児童相談所及び栃木県こども政策課へ問い合わせもできます。